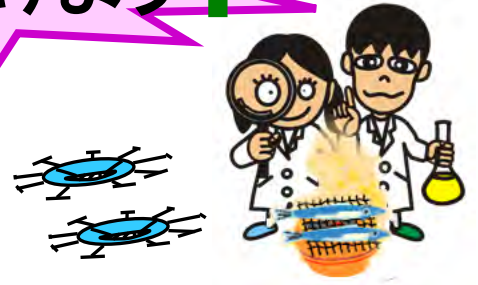
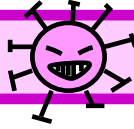


感染症に気をつけよう!

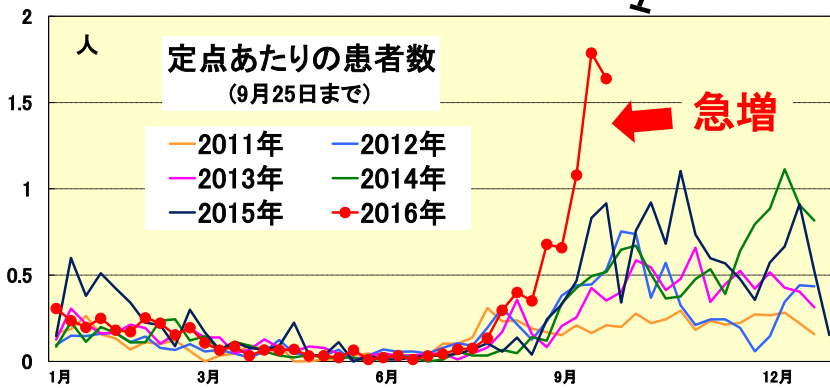
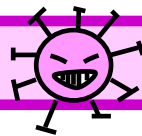
2016年【10月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症	流行状況		説明 【解説付き既刊号等】 ← クリック
	流行状況	急増	
RS(アールエス)ウイルス感染症	流行	急増	冬場のかぜの一つですが、今年はずでに流行が始まっています。重症例もみられ、十分な注意が必要です。【'15.10号】
腸管出血性大腸菌感染症	やや流行	横ばい	飲食物から以外に、感染した人から人へもうつります。食材の加熱・洗浄、手洗いで予防しましょう。【'16.9号】【0157 チラシ】
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	やや流行	横ばい	全国的に例年より多い状況が継続中で、市内でも注意報レベルの区があります。予防にはワクチンが有効です。【'16.6号】
流行性角結膜炎(はやり目)	やや流行	横ばい	幅広い年代にみられ、職場や家庭など集団での流行も起こします。手洗いを正しく行い、タオル等の共用は止めましょう。
ヘルパンギーナ	警報解除	減少	体液・便・咳などから感染し、まれに重い合併症を起こします。大人でもかかります。ワクチンは、ありません。【'16.8号】

今、気をつけたい感染症 RSウイルス感染症



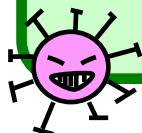
■ 例年より急に大きく増加しています。■ 乳幼児や高齢者、免疫の弱っている人では、重症化し入院するケースもあります。



- ウイルスが目・のど・鼻の粘膜に付着して感染します。
- 他の感染症を防ぐためにも、正しい手洗いの習慣をつけましょう。



麻しん
(はしか) に
注意!



■ 市内では今年に入り患者報告はありませんが、全国的には海外からウイルスが持ち込まれ、感染が広がった地域もみられます。■ 合併症を起こすと命に係わることもある感染症です。■ ワクチンを2回接種して予防しましょう。

